

令和7年5月5日午前2時49分（消防覚知）、城崎温泉街で発生した火災について、次のとおりお知らせします。

1 被害の状況

- (1) 被災された住民（2世帯4名）、避難宿泊客43名（全員無事）
- (2) 被害家屋は7棟
（旅館3棟、散髪屋1棟、住家1棟、旧従業員寮1棟、ガレージ1棟）
- (3) 5月5日04時06分～5月5日10時13分まで約140軒が停電 ※関西電力送配電HPより

〈関連影響〉

- (4) 県道豊岡竹野線（南柳通り：地蔵湯から一の湯まで）及び市道一の湯松崎線（小林屋（旅館）から城崎文芸館に向かう道）を通行止め
- (5) スクールバス以外の路線バスは、地蔵湯交差点から元薬師（もとやくし）を運休。

2 観光への影響

- (1) 外湯、旅館、飲食店、商店など、温泉街全体は通常どおり営業。
- (2) 状況確認の問合せはあるが、旅館組合へのキャンセルの連絡はない。
- (3) 温泉街全体として通常どおり営業中であり、様々な機会を通じて、城崎が元気であることを発信。

3 市の対応

- (1) 被災住民（2世帯4名）に市営住宅を一時提供 ※家賃は不要
- (2) 城崎地域のコミュニティセンターを避難所として開設 → 利用者なし。
旅行者の被災者は旅館の相互協力に対応。
- (3) 消防団の出動：城崎消防団に加えて、竹野消防団2個分団、豊岡消防団3個分団が出動。
- (4) 被災エリアは建物の倒壊等の可能性もあることから、隣接している県道・市道を通行止めし、交通誘導員を配置。
- (5) 市から被災者用毛布等緊急物資を被災住民に配布。
- (6) 通行止め情報を、防災行政無線、市公式ウェブサイト、公式LINE、Xで周知。

4 その他の対応

- (1) 豊岡観光イノベーションが、被災旅館に滞在中の外国人宿泊者のパスポート再発行、航空券手配について、大使館、航空会社に手続き方法を確認する等、旅館と連携してサポートした。
- (2) 豊岡市社会福祉協議会が、被災住民に寝具・衣服・家電製品等貸出し。

5 今後の対応

- (1) 城崎温泉火災復興協議会（仮称）への参画
地域が立ち上げる予定の協議会へ参画し、連携を密にとりながら復興を支援する。
- (2) 市道一の湯松崎線（小林屋（旅館）から城崎文芸館に向かう道）の通行止めの解除に向けて
 - ア 5月7日、市道上の瓦礫は少量であり、通行に影響のない範囲で、道路わきに集積済。
 - イ 建物解体にかかる足場設置を県道側から優先して行い、市道側へ建物の一部が落下する可能性がない旨、確認した上で、市道の通行止め解除とする。
 - ウ 県道豊岡竹野線の通行止め解除時期は、現時点で未定。
- (3) 予算対応について（取りまとめ中）
 - ア 建物解体後の景観に配慮するためフェンスを設置
 - イ 消防装備品の補充
 - ウ 交通整理に係る警備員の配置

5 今後の対応

- (4) 罹災証明の発行
被災家屋に対する罹災証明の発行
- (5) 風評被害対策
市観光公式サイト、市外国語版ホームページなどの媒体を介して、城崎温泉からのメッセージを発信。
- (6) 市税・健康保険料等の減免
固定資産税、市県民税及び国民健康保険税の減免、国民年金保険料の免除、後期高齢者医療保険料の徴収猶予等